

平成29年(2017年)1月の結果 (二人以上の世帯)

消費支出

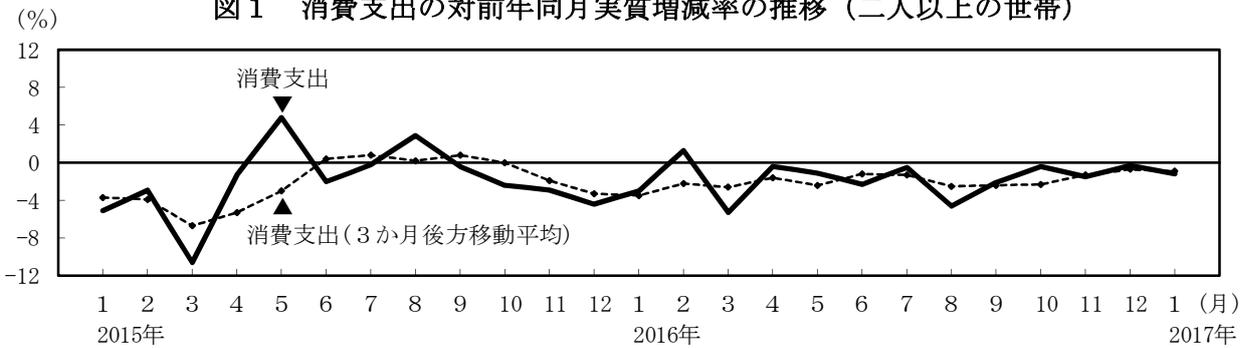
・消費支出は、1世帯当たり 279,249 円
 前年同月比 実質 1.2%の減少 名目 0.6%の減少
 前月比(季節調整値) 実質 0.5%の増加

・消費支出(除く住居等)は、1世帯当たり 239,634 円
 前年同月比 実質 0.3%の増加 名目 0.9%の増加
 前月比(季節調整値) 実質 3.2%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

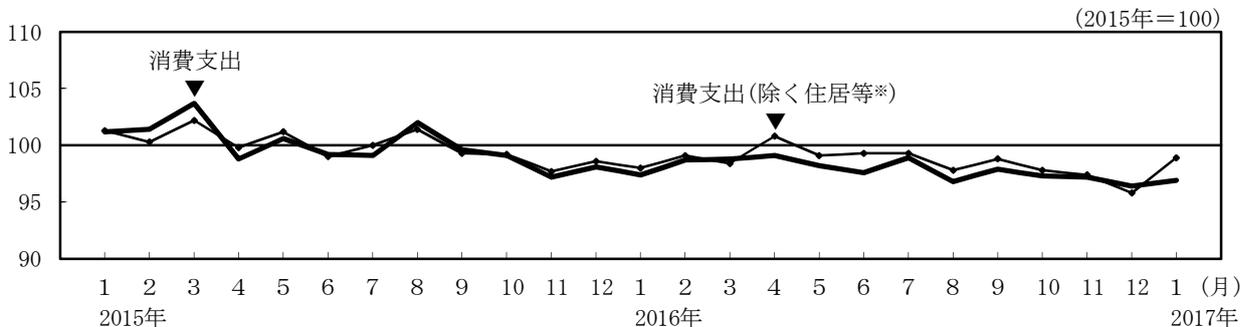
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2016年												2017年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
消費支出	-3.0	1.3	-5.3	-0.4	-1.1	-2.3	-0.5	-4.6	-2.1	-0.4	-1.5	-0.3	-1.2
消費支出(除く住居等)	-2.7	2.0	-4.3	0.4	-0.9	-0.4	-0.8	-3.1	-0.6	-0.1	-1.9	-1.5	0.3
(参考)3か月後方移動平均													
消費支出	-3.5	-2.2	-2.6	-1.6	-2.4	-1.2	-1.3	-2.5	-2.4	-2.3	-1.3	-0.7	-0.9
消費支出(除く住居等)	-3.4	-1.9	-1.9	-0.8	-1.7	-0.3	-0.8	-1.5	-1.5	-1.3	-0.9	-1.2	-1.0

注 3か月後方移動平均は、さう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。
 ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2016年												2017年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
消費支出	97.4	98.7	98.8	99.1	98.2	97.6	98.9	96.8	97.9	97.3	97.2	96.4	96.9
対前月変化率(%)	-0.7	1.3	0.1	0.3	-0.9	-0.6	1.3	-2.1	1.1	-0.6	-0.1	-0.8	0.5
消費支出(除く住居等)	98.0	99.1	98.4	100.8	99.1	99.3	99.3	97.8	98.8	97.8	97.4	95.8	98.9
対前月変化率(%)	-0.6	1.1	-0.7	2.4	-1.7	0.2	0.0	-1.5	1.0	-1.0	-0.4	-1.6	3.2

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。
 2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2017年1月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	279,249	-0.6	-1.2	-		11か月連続の実質減少
食料	68,287	-0.8	-2.6	-0.63	<減少> 外食,魚介類など	6か月連続の実質減少
住居	12,488	-6.4	-6.7	-0.31	<減少> 家賃地代,設備修繕・維持	2か月ぶりの実質減少
光熱・水道	25,295	-1.9	1.6	0.15	<増加> 上下水道料,ガス代	5か月連続の実質増加
家具・家事用品	9,995	7.3	7.4	0.25	<増加> 室内装備・装飾品,家庭用耐久財など	3か月ぶりの実質増加
被服及び履物	12,730	3.2	2.1	0.09	<増加> 洋服,和服など	8か月ぶりの実質増加
保健医療	11,978	-7.1	-7.6	-0.35	<減少> 保健医療サービス	5か月連続の実質減少
交通・通信	37,558	-3.7	-4.0	-0.55	<減少> 自動車等関係費	3か月ぶりの実質減少
教育	10,202	6.6	5.0	0.17	<増加> 授業料等,補習教育など	2か月連続の実質増加
教養娯楽	25,360	3.0	2.1	0.18	<増加> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品など	3か月ぶりの実質増加
その他の消費支出	65,356	0.1	(-0.5)	(-0.11)	<減少> 仕送り金,交際費	3か月ぶりの実質減少
消費支出 (除く住居等)	239,634	0.9	0.3	-		9か月ぶりの実質増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度	品目
<減少項目>		
自動車等関係費	[-0.92]	自動車購入,自動車等部品
保健医療サービス	[-0.50]	他の入院料*, 歯科診療代
外食	[-0.21]	飲酒代,すし(外食)
魚介類	[-0.19]	いか,かに
穀類	[-0.10]	米
野菜・海藻	[-0.07]	キャベツ,はくさい
<増加項目>		
通信	[0.42]	移動電話通信料,移動電話
室内装備・装飾品	[0.12]	室内装飾品
洋服	[0.10]	子供服,男子用コート
教養娯楽用耐久財	[0.10]	パーソナルコンピュータ,楽器

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

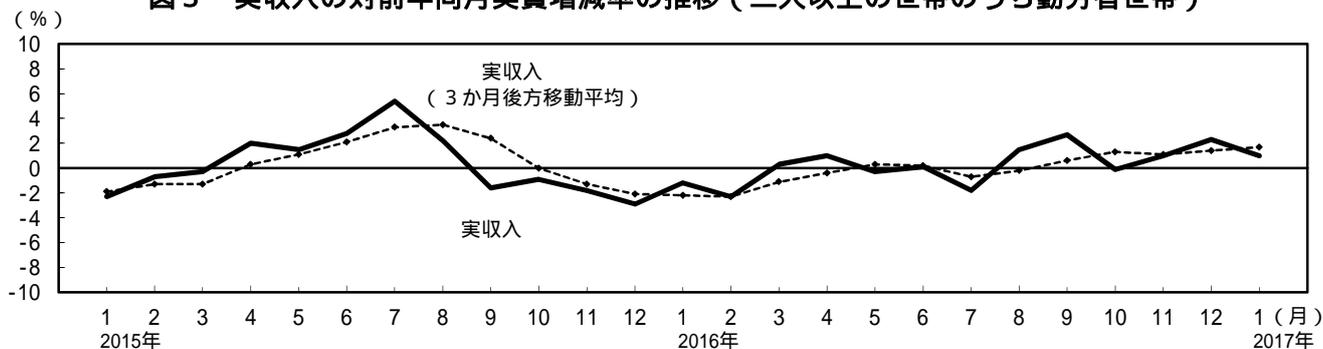
実収入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 441,064 円
 前年同月比 実質 1.0%の増加 名目 1.6%の増加

3 勤労者世帯の収支

(1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2016年												2017年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
実収入	-1.2	-2.3	0.3	1.0	-0.3	0.1	-1.8	1.5	2.7	-0.1	1.0	2.3	1.0	
(参考)3か月 後方移動平均	名目	-2.0	-2.2	-1.0	-0.4	0.1	-0.2	-1.1	-0.6	0.1	1.0	1.2	1.8	2.2
	実質	-2.2	-2.3	-1.1	-0.4	0.3	0.2	-0.7	-0.2	0.6	1.3	1.1	1.4	1.7

(2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳(2017年1月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備考
		名目	実質		
実収入	441,064	1.6	1.0	-	3か月連続の実質増加
世帯主収入	359,070	2.8	2.2	1.76	3か月連続の実質増加
定期収入	348,486	2.5	1.9	1.47	3か月連続の実質増加
配偶者の収入	54,867	-3.1	-3.7	-0.48	5か月ぶりの実質減少
他の世帯員収入	7,731	20.9	20.2	0.30	10か月連続の実質増加
非消費支出	80,568	2.5	-	-	2か月連続の増加
可処分所得	360,495	1.3	0.7	-	3か月連続の実質増加
消費支出	307,150	-1.7	-2.3	-	2か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	85.2	(前年同月)(ポイント差) 87.8 -2.6			季節調整値でみると71.0%で、前月に比べ0.8ポイントの低下となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。